

DAIDO METAL

株主のみなさまへ

第107期 中間報告書

第2四半期連結累計期間

2014年4月1日～2014年9月30日

Together To The Top



CONTENTS

株主の皆様へ	1
連結決算ハイライト(前年同期比)	1
営業のご報告	2
会社概要及び特色	3
事業セグメント別概要	4
(事業内容・売上高推移・売上高構成比)	
連結財務諸表(要旨)	5
中期経営計画(2012年度～2017年度)	7
2015年3月期 通期業績予想	8
配当について	8
企業情報	9
会社概要/役員	9
株式事項/グローバルネットワーク(主な拠点)	10
株主メモ	11
株式に関する諸手続のご案内	11

大同メタル工業株式会社

証券コード 7245



代表取締役会長
兼最高経営責任者

判治 誠吾



代表取締役社長
兼最高執行責任者

極山 恒太郎

連結決算ハイライト（前年同期比）

1 2015年3月期第2四半期（累計）決算概要

単位：百万円（百万円未満切捨、比率は表示単位未満四捨五入）

連結業績	【前期】 2014年3月期 第2四半期	【当期】 2015年3月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	36,867	40,450	+3,583	+9.7%
営業利益 (同利益率)	3,795 (10.3%)	3,961 (9.8%)	+165	+4.4%
経常利益 (同利益率)	4,139 (11.2%)	4,144 (10.2%)	+4	+0.1%
四半期純利益 (同利益率)	2,277 (6.2%)	2,219 (5.5%)	△58	△2.5%

■：半期ベースで過去最高値

売上高 ・海外は、自動車関連が堅調に推移し、欧米や中国で売上が伸びました。また、北米での一般建設機械の需要が回復傾向で推移したことなどから全ての地域で増収となりました。
・国内は、自動車関連が消費税増税前の受注残の解消などにより底堅く推移し、また、大型船舶向け低速ディーゼルエンジン用軸受も需要が回復傾向で推移したことなどから増収となりました。

利益 ・自動車関連の増収や建設機械関連の回復等により、営業利益は増加し、経常利益は、前年同四半期は3億11百万円の為替差益を計上した一方で、当四半期では為替差損を1億円計上したことと、支払利息が87百万円減少したこと等により増増となりました。
四半期純利益は、前年同四半期の固定資産売却益1億94百万円計上の特別利益が無く減益となりました。

2 所在地別 売上高・営業損益

- 国内** ・消費税増税前の駆け込み需要による受注残の解消や、大型船舶向け低速ディーゼルエンジン用軸受の需要回復傾向等により、売上は前年実績を上回りました。
・営業損益は、自動車関連等での増収効果により増益となりました。
- アジア** ・中国で大きく売上を伸ばし、韓国や政情不安が続くタイでも売上は堅調に推移し、営業損益は増益となりました。
- 北米** ・自動車関連、一般建設機械ともに売上は増加しました。営業損益のマイナス拡大は、メキシコ新工場にかかる先行費用の計上等によるものです。
- 欧州** ・域内の需要回復基調や新規顧客向け納入開始等により、自動車関連の売上は堅調に推移しました。営業損益は船用売上(中小型船舶向け)が依然として低調であったことなどから微減となりました。



株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、2015年3月期第2四半期(累計)における営業のご報告を申し上げます。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上面は、主に欧米や中国を中心に自動車産業関連が堅調に推移し、北米での一般建設機械の需要が回復してまいりました。

その結果、グループ全体の売上高は404億50百万円となり、半期ベースでは過去最高値を更新し、前年同四半期に比べて35億83百万円(+9.7%)の増収となりました。

また、利益面では、中期経営計画に沿ったグローバルベースでの事業拡大に伴う各種先行費用などの計上がありました。営業利益は39億61百万円と前年同四半期に比べて1億65百万円(+4.4%)の増益となりました。経常利益は41億44百万円と前年同四半期に比べて4百万円(+0.1%)の微増となりました。これは、前年同四半期においては為替差益を3億11百万円計上いたしましたが、当四半期は為替差損を1億円計上したことなどによる減益要因と、支払利息が前年同四半期と比べて87百万円減少した増益要因などによ

るものです。四半期純利益は22億19百万円と前年同四半期に比べて58百万円(△2.5%)の減益となりました。これは、前年同四半期においては、固定資産売却益を1億94百万円計上したことなどによるものです。

現在、当社グループでは、中期経営計画「Together To The Top (ともにトップを目指そう)」(平成24年4月～平成30年3月までの6ヵ年)に基づき、当計画の最終年度において、自動車用エンジン軸受や大型船舶向け低速ディーゼルエンジン用軸受のみならず、すべり軸受の全分野での世界トップシェア獲得を実現すべく、特に平成24年度から26年度までの前半3ヵ年は、設備投資によるグローバルベースでの生産能力の増強などに取り組んでおり、事業基盤の拡大・再構築は計画に沿って着実に具現化いたしております。

常に、「DAIDO SPIRIT(夢・希望・挑戦)」を忘れずに、グループ全社全員が一丸となって勇気ある挑戦を続けてまいります。

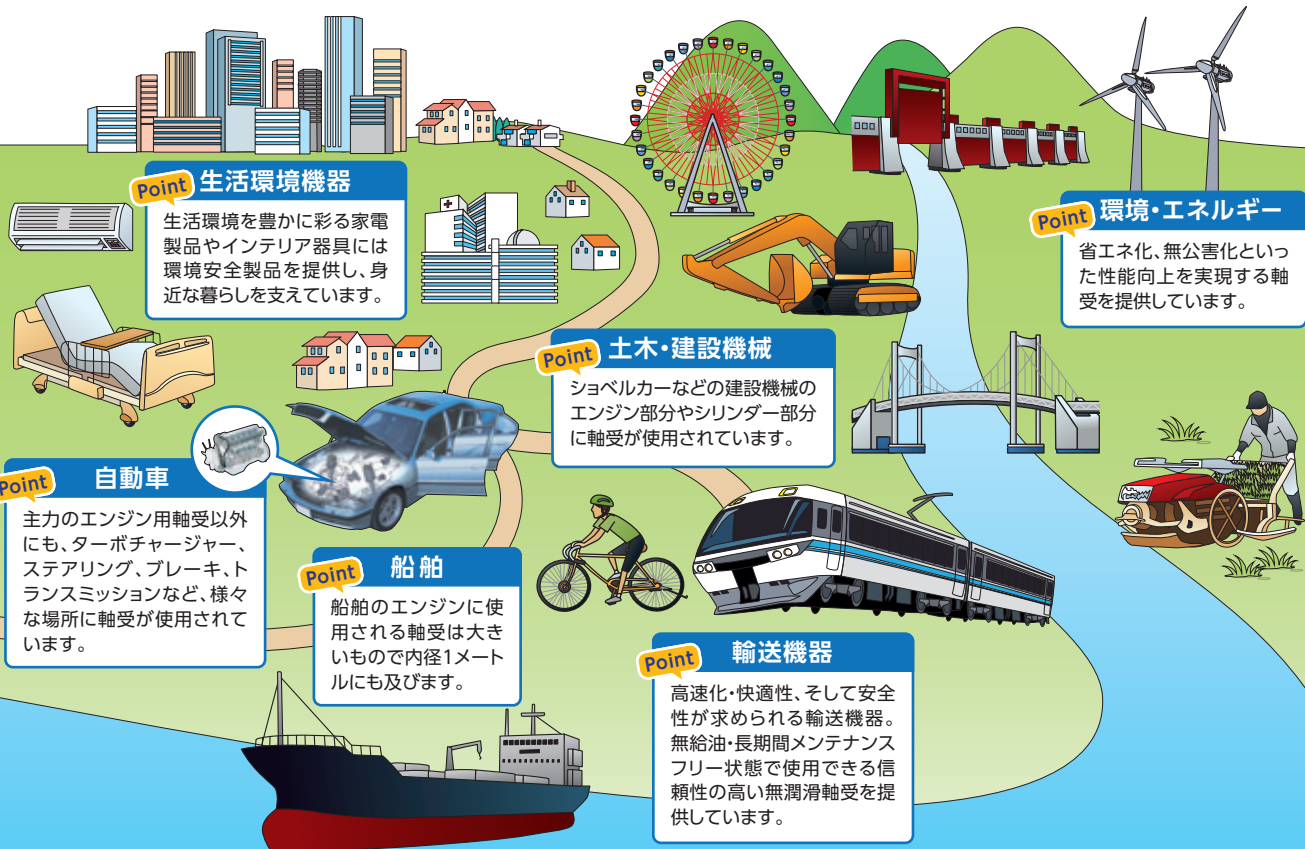
株主の皆様におかれましては、今後も引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

自動車、船舶、建設機械、一般産業向けなど、多種多様な産業分野で使用される「軸受」を生産・販売している「総合すべり軸受メーカー」です。

特色

- 日本、北米、欧州、アジア、中国の5極において、生産・販売体制を構築しています。
- 当社は独立系であり、世界の多業種かつ多くのお客様向けに製品を納入させて頂いております。
- 自動車のエンジンに使用される軸受では世界シェア30%超、タンカーなどの大型船舶のエンジンに使用される軸受では同約59%と、いずれも世界トップシェアを有しています(シェアは2013年暦年の当社推定)。
- トラック、建設機械、農業機械、二輪用の軸受や、自動車部品のターボチャージャー、ショックアブソーバーに使用される軸受においても、国内で極めて高いシェアを有しています。
- 欧州の自動車メーカーを中心に採用が広がっている、材料に鉛を使用しない「鉛フリー軸受」製品は、環境面からもお客様から高い評価を頂いております。また一般産業分野においても、発電設備で使用される「タービン用特殊軸受」製品は耐久寿命特性に優れており、お客様から好評を頂いております。

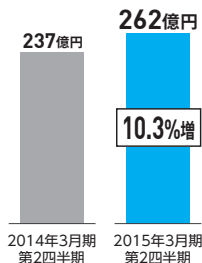


自動車用エンジン軸受

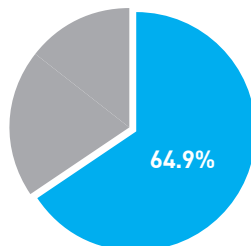
■ 事業内容

自動車(乗用車・トラック・レーシングカー) エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機(ターボチャージャー・バルブ機構、インジェクションポンプ) 用軸受など。

■ 売上高推移 (前年同期比)



■ 売上高構成比



〈主な製品〉



▲半割メタル



▲スラストワッシャー



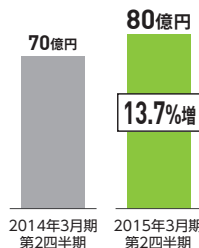
▲ターボチャージャー用スラストベアリング

自動車用エンジン以外軸受

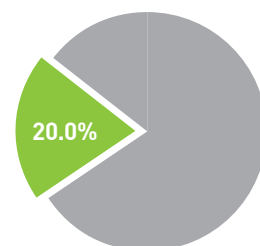
■ 事業内容

自動車部品(トランスミッション、ショックアブソーバー、空調用コンプレッサー、ステアリング等) 用軸受など。

■ 売上高推移 (前年同期比)



■ 売上高構成比



〈主な製品〉



▲ショックアブソーバー用ブッシュ



▲スターター用ブッシュ



▲射出成型軸受

非自動車用軸受

■ 事業内容

船舶ディーゼルエンジン用軸受、発電(水車・タービン等) 用軸受、産業用(コンプレッサー・増減速機等) 軸受、ロータリーポンプ、集中潤滑装置(工作機械用)、キャパシタ用電極シートなど。

〈主な製品〉

大型船舶用軸受

建設機械・
中小型船舶用軸受

一般産業用軸受



▲低速ディーゼルエンジン用軸受



▲中高速ディーゼルエンジン用軸受

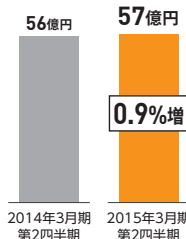


▲特殊軸受(タービン用など)

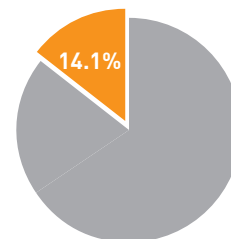


▲ドライベアリング

■ 売上高推移 (前年同期比)



■ 売上高構成比



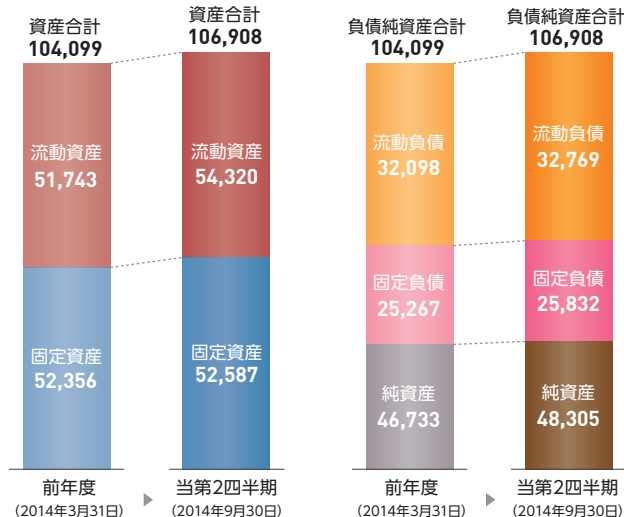
連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

単位：百万円(百万円未満切捨て)

科目	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2014年9月30日)
(資産の部)		
流動資産	51,743	54,320
固定資産	52,356	52,587
資産合計	104,099	106,908
(負債の部)		
流動負債	32,098	32,769
固定負債	25,267	25,832
負債合計	57,365	58,602
(純資産の部)		
株主資本	38,386	40,010
その他の包括利益累計額合計	454	205
少数株主持分	7,892	8,089
純資産合計	46,733	48,305
負債純資産合計	104,099	106,908

財務の状況



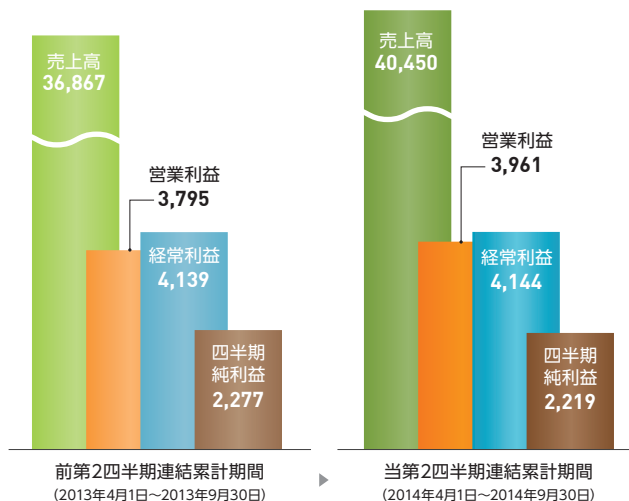
連結損益計算書

単位：百万円(百万円未満切捨て)

科目	前第2四半期連結累計期間 (2013年4月1日~2013年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (2014年4月1日~2014年9月30日)
売上高	36,867	40,450
売上原価	26,435	29,204
売上総利益	10,431	11,246
販売費及び一般管理費	6,636	7,285
営業利益	3,795	3,961
営業外収益	794	609
営業外費用	450	426
経常利益	4,139	4,144
特別利益	194	-
特別損失	17	-
税金等調整前四半期純利益	4,316	4,144
法人税、住民税及び事業税	1,082	1,425
法人税等調整額	299	73
少数株主利益	656	425
四半期純利益	2,277	2,219

収益の状況

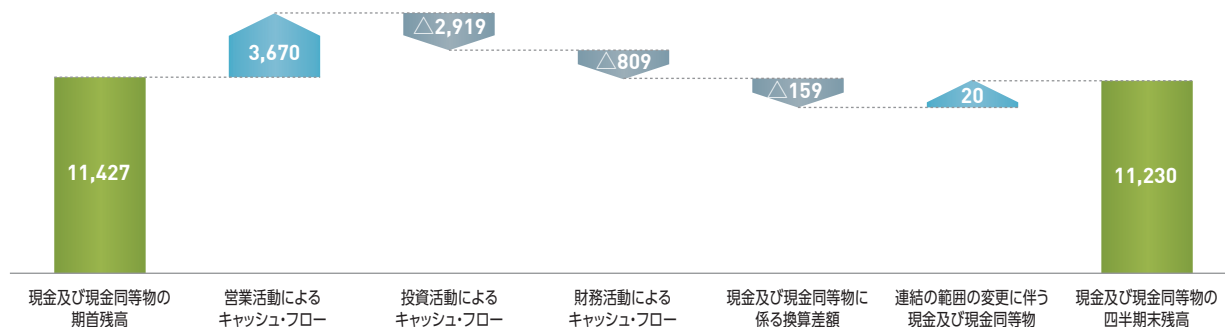
単位：百万円(百万円未満切捨て)



連結キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間(2014年4月1日～2014年9月30日)

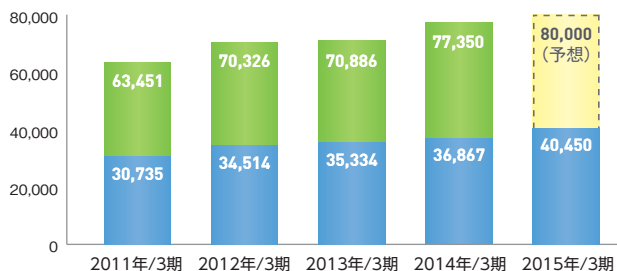
単位：百万円(百万円未満切捨て)



連結業績推移

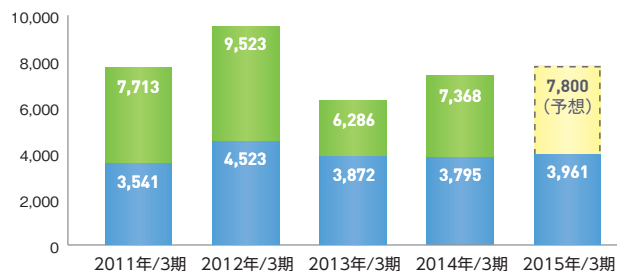
単位：百万円(百万円未満切捨て)

売上高

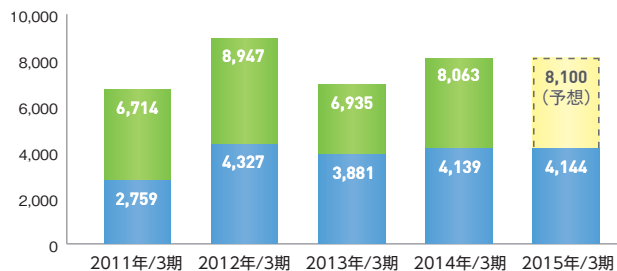


営業利益

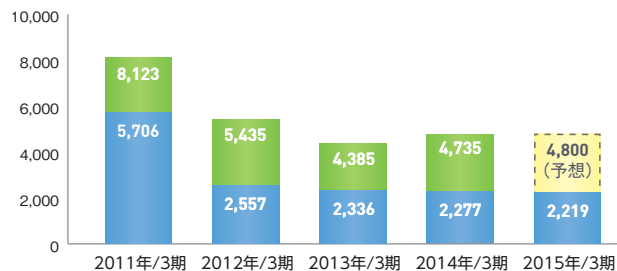
通期 ■ 第2四半期(累計)



経常利益



当期純利益



Vision すべり軸受の全分野において世界市場でトップシェアを獲得し、世界で存在感のある大同メタルグループを目指す。

Stage 1

2012年度～2014年度

目標 全分野でのトップシェア実現のため、事業基盤を構築する

■ 第1ステージ期間中の業績推移

2012年度			2013年度			2014年度〈予想〉		
売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
708億円	62億円	8.9%	773億円	73億円	9.5%	800億円	78億円	9.8%

■ 重点テーマ

- 生産・販売・開発のグローバル体制の構築
- 技術優位性持続のための研究開発強化
- 品質の改革
- 世界全拠点の経営安定化
- グローバル生産能力の大幅アップ
- 生産管理の強化
- 生産性の飛躍的向上
- 強固な財務基盤の構築
- 非自動車分野の開拓強化

■ 第1ステージにおける主な活動内容



基本方針

「大同メタルグループが一丸となり、全分野でともにトップを目指そう」とのスローガンの下、第1ステージ（2012年度～2014年度）を『トップシェア実現のための事業基盤構築期間』とし、第2ステージ（2015年度～2017年度）で『全分野での世界トップシェアを実現する。』

Stage 2

2015年度～2017年度

目標 すべり軸受の全分野での世界トップシェアを実現する

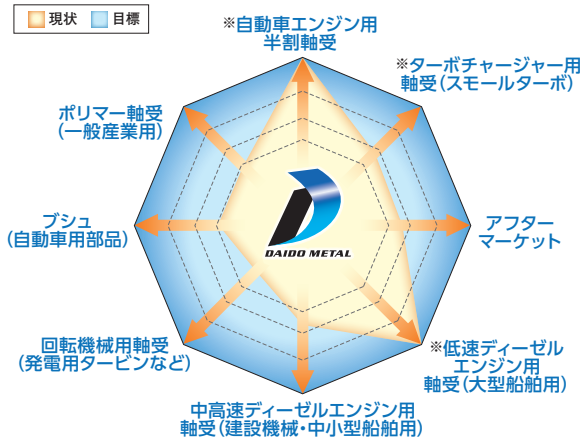
第2ステージ最終年度目標

2017年度〈目標〉		
売上高	営業利益	営業利益率
1,110億円	167億円	15%以上

重点テーマ

- 自動車用エンジン軸受 → ・更なるシェア拡大
・トップシェアの堅持
- 非自動車用軸受 → ・船用、建設機械用、回転機械用などにおける 軸受世界トップシェアの獲得

すべり軸受全分野 世界シェア目標図



※：世界トップシェア(2013年暦年当社推定)

2014年5月14日に公表いたしました予想値に変更はありません。

単位：百万円(百万円未満四捨、比率は表示単位未満四捨五入)

連結 通期業績	【前期】 2014年3月期 (実績)	【当期】 2015年3月期 (予想)	増減額	増減率
売上高	77,350	80,000	+2,649	+3.4%
営業利益 (営業利益率)	7,368 (9.5%)	7,800 (9.8%)	+431	+5.9% (+0.2P)
経常利益 (経常利益率)	8,063 (10.4%)	8,100 (10.1%)	+36	+0.5% (△0.3P)
当期純利益 (当期純利益率)	4,735 (6.1%)	4,800 (6.0%)	+64	+1.4% (△0.1P)

※当期想定為替レート：103円/米ドル、138円/ユーロ

※業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

配当について

長期安定的な剰余金の配当水準を維持する方針から、当期の中間配当につきましては、2014年5月14日公表の予想値どおり、「1株当たり10円」とさせていただきます。

なお、当期の期末配当につきましては、予想値「1株当たり10円」を据え置いております。

	【前期】 2014年3月期	【当期】 2015年3月期
中間	7円	10円
期末	10円	10円 (予想)
年間配当	17円	20円 (予想)

会社概要

(2014年9月30日現在)

設立	1939年(昭和14年) 11月4日	
資本金	7,273百万円	
従業員数(正社員)	連結 4,189名 / 個別 1,148名	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車用エンジン軸受 自動車(乗用車・トラック・レーシングカー)エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機(ターボチャージャー・バルブサージ機構・インジェクションポンプ)用軸受など ●自動車用エンジン以外軸受 自動車部品(トランスミッション、ショックアブソーバー、空調用コンプレッサー、ステアリング等)用軸受など ●非自動車用軸受 低速(2サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、中高速(4サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、発電(水車・タービン等)用軸受、産業用(コンプレッサー・増減速機等)軸受、ロータリーポンプ、集中潤滑装置(工作機械用)、キャパシタ用電極シートなど ●その他 金属系無潤滑軸受事業、不動産賃貸事業など 	

本社	名古屋本社 〒460-0008	名古屋市中区栄二丁目3番1号 名古屋広小路ビルディング13階
	東京本社 〒140-0002	東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー17階

国内生産拠点	犬山工場(犬山事業所内)	前原工場(犬山事業所内)
	バイメタル製造所(犬山事業所内)	岐阜工場
	TMBS工場(犬山事業所内)※2014年4月1日付で改組しました。	
	TMBS=Turbomachinery Bearing Systems(回転機械用特殊軸受)	

国内販売拠点 東京支店、名古屋支店、大阪支店、浜松営業所、広島営業所、九州営業所

関係会社	●国内
	生産：大同プレーンベアリング株式会社、エヌデーシー株式会社 大同インダストリアルベアリングジャパン株式会社
	販売：大同メタル販売株式会社、エヌデーシー販売株式会社
	物流：大同ロジテック株式会社
	不動産賃貸：株式会社アジアケルメット製作所

●海外(主な拠点)

【アジア】

中原大同股份有限公司(台湾)	韓国ドライブアベアリング株式会社(韓国)
同晟金属株式会社(韓国)	BBL大同プライベートLTD.(インド)
ダイナメタルCO., LTD.(タイ)	PT.大同メタルインドネシア(インドネシア)

【中国】

大同精密金属(蘇州)有限公司(中国)

【ヨーロッパ】

大同インダストリアルベアリングヨーロッパLTD.(イギリス)	大同メタルチェコs.r.o.(チェコ)
大同メタルコートールAD(モンテネグロ)	大同メタルヨーロッパLTD.(イギリス)
大同メタルドイツGmbH(ドイツ)	大同メタルロシアLLC(ロシア)

【アメリカ】

大同メタルU.S.A. INC.(米国)	大同メタルメキシコS.A. DE C.V.(メキシコ)
大同メタルメキシコ販売S.A. DE C.V.(メキシコ)	

役員

【取締役及び監査役】

(2014年9月30日現在)

代表取締役会長 兼最高経営責任者	判治 誠吾
代表取締役社長 兼最高執行責任者	櫻山 恒太郎
取締役常務 兼上席執行役員	佐々木 利行
取締役 兼上席執行役員	河村 康雄
取締役 兼上席執行役員	井川 雅樹
常勤監査役	玉谷 昌明
☆監査役	田辺 邦子
☆監査役	松田 和雄

[注] ☆印はいずれも社外監査役であります。

【執行役員】

(2014年9月30日現在)

上席執行役員	岡 戸 篤
上席執行役員	佐藤 善昭
上席執行役員	小暮 圭一
上席執行役員	吉田 秀雄
執行役員	坂元 敬重
執行役員	三代 元之
執行役員	宮脇 敏之
執行役員	伊藤 吉明
執行役員	鬼頭 幸裕
執行役員	浅井 眞吾
執行役員	佐々木 秀明

株式事項 (2014年9月30日現在)

株式の状況

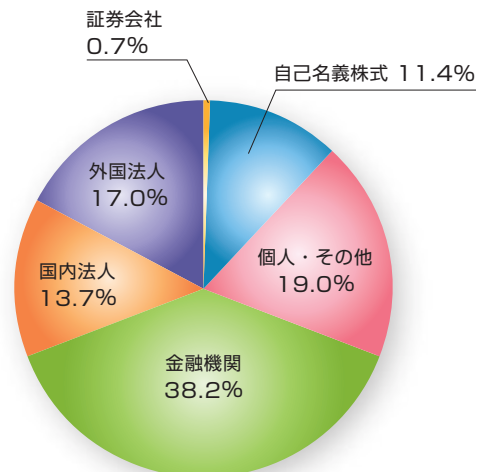
発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式の総数 44,956,853株 (自己株式5,137,897株を含む)
 株主数 2,889名

大株主

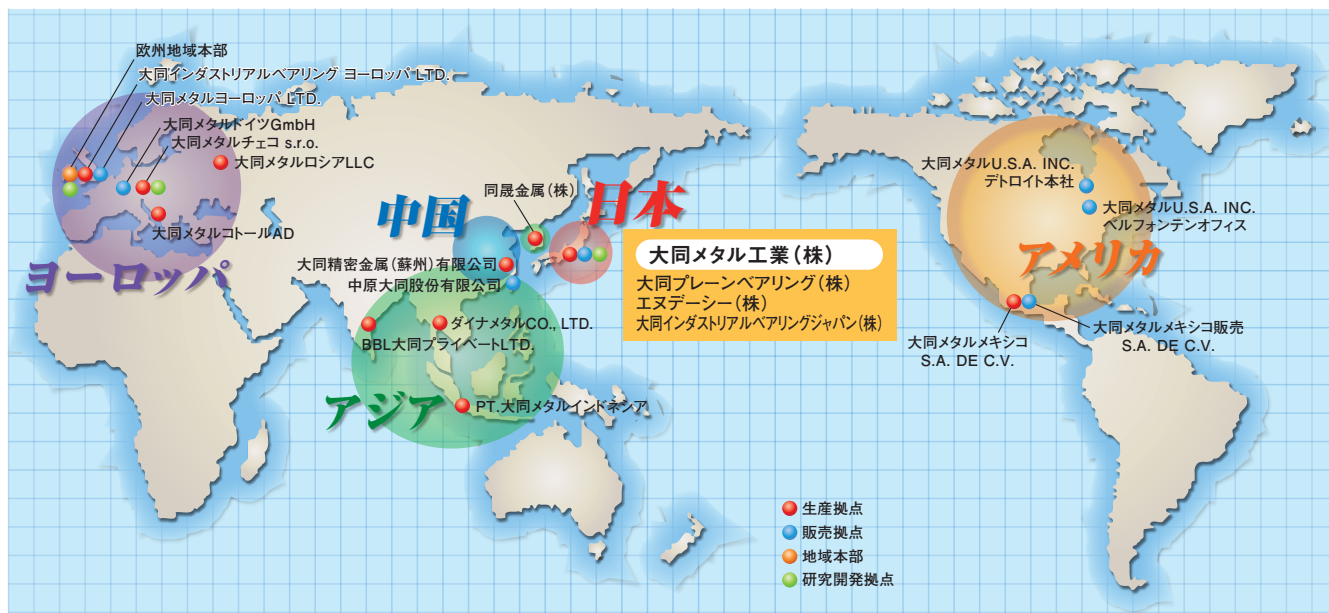
株主名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,411
三井住友信託銀行株式会社	1,978
株式会社みずほ銀行	1,977
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,910
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,822
東京海上日動火災保険株式会社	1,661
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニパス アカウント	1,427
大同メタル友栄会持株会	1,160
ザ セリ ワタナ インダストリー カンパニー リミテッド 703000	1,000
日新製鋼株式会社	909

(注)当社は自己株式5,137,897株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

所有者別株式保有状況



グローバルネットワーク (主な拠点) (2014年9月30日現在)



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月		
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期 末 配 当：毎年3月31日 中 間 配 当：毎年9月30日	特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
単元株式数	1,000株（※平成27年1月1日より100株）	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告の方法により、当社のホームページ (http://www.daidometal.com/) に掲載 します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告をすることができない場合は、日本経 済新聞に掲載します。		
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部		

株式に関する諸手続のご案内

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

上場株式等の配当等に係る軽減税率の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率(所得税7%、住民税3%)は廃止され、本来の税率である20%(所得税15%、住民税5%)となりました。

また、2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)は、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」が施行されており、「復興特別所得税」として0.315%(所得税額に対して2.1%)が併せて課税されています。

「配当金計算書」について

配当金お支払の際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行なわれます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、「配当金領収証」にて配当金をお受取りの株主様につきましては、配当金のお支払の都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社

1 株式事務に関するご質問 (フリーダイヤル)
0120-782-031 [受付時間：平日 9:00~17:00]

2 インターネットによる株式に関する諸手続のご案内
<http://www.smb.jp/personal/agency/index.html>

大同メタル工業株式会社


<http://www.daidometal.com/>



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。